

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No.12



令和2年9月25日

文責 渡辺 富美夫

## 輝き いっぱい



湖南中 会場をステラに

全ての学校で運動会、学園祭が行われました。今年はコロナ禍のため、半日実施、密にならないための観客席の工夫、観客数の制限、さらには、会場変更もした学校もあり、様々な対応をしたうえでの実施となりました。子どもたちにとっては、種目数が減ったり、大きな声での声援が制限されたりするなど思う存分に力を発揮できない状況でした。しかし、演技では全身を使って表現し、競技では全力を出し切り、賞賛や応援の心の声を拍手で伝え、皆、輝いていました。一人ひとりが力を発揮し、認め合い、励まし合い、高め合うなかで、集団として大きな力が生まれました。



児童席はスタンド

勝山小 密を避け撮影スペース



小立小 密を避けた観客席

友だちと関わり合うことにより、一人ひとりが大きく成長した運動会・学園祭でした。ここで得たことを糧に、これからの学校生活でさらに一人ひとりが輝き、成長することを期待しています。保護者や地域の方々の声援が子どもたちの力になりました。今後も“ほめて、認めて、励まして”ください。

### 速報

防災アンケートより

## 噴火防災について知ってますか？

町立教育センター富士山学習研究会が毎年実施している児童・生徒アンケートは、今年は富士山科学研究所の「防災アンケート」を一緒に行う形で実施いたしました。富士山科学研究所が中心にまとめ、研究会でさらにまとめ、10月下旬に公開する予定です。まとめの途中ですが課題と思える点を紹介します。

アンケート結果(抜粋)			
質問	富士山の近くに住んでいて心配なこと		
学年	1位	2位	3位
小学3年	噴火するかもしれない(88%)	溶岩が流れてくるかもしれない(87%)	石が飛んでくるかもしれない(73%)
小学5年	噴火するかもしれない(87%)	溶岩が流れてくるかもしれない(80%)	土砂崩れが起こるかもしれない(65%) 灰が降ってくるかもしれない(65%)
中学2年	溶岩が流れてくるかもしれない(79%)	灰が降ってくるかもしれない(78%)	噴火するかもしれない(75%)
質問	富士山が噴火したときどうしたらいいか家族で話し合ったことがあるか		
小学3年	話し合ったことがない(59%)	話し合ったことがある(33%)	
小学5年	話し合ったことがない(57%)	話し合ったことがある(42%)	
中学2年	話し合ったことがない(63%)	話し合ったことがある(36%)	
質問	富士山が噴火したらどうしたらいいか聞いたことがあるか		
小学3年	聞いたことがない(43%)	聞いたことがあるけど覚えていない(30%)	聞いたことがある(27%)
小学5年	聞いたことがある(39%)	聞いたことがあるけど覚えていない(33%)	聞いたことがない(29%)
中学2年	聞いたことがある(45%)	聞いたことがあるけど覚えていない(42%)	聞いたことがない(13%)

「富士山の近くに住んでいて心配なこと」として、噴火に関するものが上位で、噴火の危険性を感じています。しかし、「噴火したときの対応について家族で話し合ったことがあるか」は、小学3年生が33%、5年生が42%、中学2年生が36%となっています。一昨年度の調査で「自然災害が起きた時のことを話し合っているか」は小学3年生が47%、5年生が58%、中学2年生44%と低く、課題として挙がりましたが、さらに低い結果となりました。また、「富士山が噴火したらどうしたらいいか」については、「聞いたことがある」の割合が低い結果となっています。富士山噴火について正しい知識を得る学習機会を作っていくことや家庭でも話をする機会を持つことが大切だと考えています。